

〔第188回明専塾（トヨタ自動車九州）〕

レクサス品質を支える情報技術

情報工学府学祭情報工学専攻M1 野中 皇佑



はじめに

令和2年1月28日に飯塚キャンパスにおいて第188回明専塾が開催されました。今回はトヨタ自動車九州で活躍されているOBの方々をお招きして開催されました。

講演会

今回は吉田誠治氏（制56卒）、山下徹氏（情報機H6卒）、早道信之氏（情報機H6卒）、永沼将治氏（建地H26卒）の計4名の先輩方にご講演いただきました。トヨタ九州の会社概要、トヨタグループ内でのトヨタ九州の役割、先輩方の入社後の仕事



講演会の様子

内容、さらに就職活動をどのように行くと良いかなどについて、ご講演いただきました。

中でも、レクサスブランドの品質を保つために今まで人でしかできなかった塗装検査の工程をAIを用いて実施する試みを行っていたりと、車業界でのAI・情報技術の重要性が高まっていると感じました。

さらに、先輩が実際にどのような就職先を決め、就職活動を行ったのか、その際の工夫についても知る事ができました。

グループディスカッション

ラーニングアゴラで行われたグループディスカッションでは、多くの社員の方々とお菓子を食べながら気軽な雰囲気でお話をさせていただきました。入社後どのような流れで部署が決めるのか、各部署のより詳細な仕事内容、入社後の辛かったこと、休日の過ごし方など他にも通常の会社説明会では聞くことのできないような内容をざっくばらんに伺うことができました。

おわりに

私は自動車業界に興味があり、今回の明専塾に参加いたしました。各部署においての実際の業務内容に加え、プライベートのこと、さらには就職活動についてなどを聞くことができ、とても貴重な経験となりました。今回の明専塾以前にいくつかの会社説明会に参加しましたが、今回のような、より深いところまでは聞

くことができなかつたため、とても有意義な時間となりました。今後も実施される明専塾は積極的に参加していきたいと感じました。

謝辞

今回、ご多忙の中、私たち学生のためにご講演くださったトヨタ自動車九州にお勤めのOBの皆様、並びにこのような貴重な機会を提供していただいた明専会や教職員の皆様にご心よりお礼申し上げます。

（令和2年2月記）



グループディスカッションの様子